学校番号	２１２

令和８年度　理科

教科	理科	科目	(学)生物基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	2027 大学入学共通テスト対策 改訂版　つかむ生物基礎　（浜島書店） 2027 共通テスト対策【実力完成】直前演習　生物基礎　（株式会社ラーンズ）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生で学習した生物基礎の演習を行います。問題演習を通じて、生物や生命現象についての探究心を高め，生物学の基本的な概念や，原理・原則の理解を深め，科学的な自然観を養います。
・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な知識・技能を身に付けます。
・知識の暗記だけではなく、その知識を活用し生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養います。知識の活用や考え方の習得を目指し、積極的に学んでいきましょう。

2　学習の到達目標

問題演習を通じて、生物や生命現象についての探究心を高め，生物学の基本的な概念や，原理・原則の理解を深め，科学的な自然観を育成する。
１．バイオテクノロジーとして身近に利用されることも多くなった「遺伝子」のしくみ。
２.自分の体調や病気に大きくかかわってくる「体内環境の維持」のしくみ。
３．私たちの生活に大きな影響をあたえている環境問題、これを理解するために必要な「生態系」のしくみ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物に関する様々な現象を理解するために必要な知識や、深く探究するために必要な実験の技能を身につけている。	生物に関する様々な現象について、学んだ知識をもとに実験、観察や考察などを行い、文章などの形で表現することができる。	生物に関する様々な現象について興味をもち、授業で学んだ知識などをもとに自ら深く探究を行い、新たに学習を行うことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	生物の特徴、遺伝子とそのはたらき	・生物の多様性と共通性 ・生物の進化と系統 ・真核細胞と原核細胞 ・生命活動とエネルギー ・代謝と酵素 ・生物と遺伝情報 ・DNA の構造と遺伝情報 ・DNA 複製 ・DNA と染色体 ・細胞周期と DNA の分配 ・遺伝子発現とタンパク質 ・転写と翻訳	a:生物の多様性、共通性、代謝、ＤＮＡについて正しい知識を身につけている。特徴やはたらきを正しく答えられる。 b:観察やグラフ等をもとに、細胞や反応の特徴の違いについて考察できる。 c:DNA、細胞分裂、遺伝子発現に関する基本的な知識を身につけ生物内での代謝について興味をもち、代謝に関わる様々な現象について探究できる。	定期考査 小テスト 等	定期考査 実験レポート 提出課題	実験レポート 提出課題
二学期	体液の恒常性、植生と遷移、生態系	・腎臓と肝臓のはたらき ・神経系と内分泌腺による調節 ・免疫 ・環境と生物 ・光の強さと植物 ・遷移の過程 ・遷移に伴う環境の変化 ・遷移と世界のバイオーム ・日本のバイオーム ・生態系における生物の役割 ・種多様性と食物連鎖 ・生態系と生体ピラミッド	a:体内環境の維持、および生態系に関する基本的な知識を身につけている。 b:体内環境の調節のしかたおよび、環境の変化に伴う植生の変化について、複数の要素から考察ができる。 c:　恒常性の維持、環境と生態系との関係について興味をもち、様々な病気や環境問題等に興味をもち、相互にどのような影響を与え合っているのかについて探究できる。	定期考査 小テスト 等	定期考査 実験レポート 提出課題	実験レポート 提出課題
三学期	実践演習	・実践演習	a:生物基礎で身に付けた知識や技能を用いて、生命活動についてより深く理解するとともに、生物の基本的な概念や原理・法則の理解を深めたり、実験などに関する技能を身につけたりしようとしている。 b:生物学的な事物・現象について、科学的に考察し、表現している。 c:生物学的な事物・現象について主体的に関わり，科学的に探究しようとしている	小テスト 等	実験レポート 提出課題	実験レポート 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度